

2025年への対応方針

【2019年改訂版】

1. 基本情報

【2019年10月時点】

医療機関名	重症心身障害児施設 はんな・さわらび療育園
所在地	群馬県高崎市榛名山町28-30
沿革	昭和40年:『はんな・さわらび学園』の設置経営を主たる目的として、財団法人榛桐会を設立 昭和43年:50床にて施設開園 昭和45年:60床の収容棟を増築し、計110床 昭和47年:財団法人榛桐会を解散し社会福祉法人榛桐会を設立 昭和51年:10床を削減し、計100床 昭和56年:3床を増床し、計103床 平成3年:施設名称を『はんな・さわらび療育園』と改める 平成20年:短期入所室4床を増床し、計107床 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	107 床	床	床	床	107 床	床
	平均在院日数	日	日	日	日	日
	病床稼働率	%	%	%	%	%



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	120 床	床	床	床	120 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も重度の知的障害と肢体不自由が重複した児童及び18歳以上の利用者様（重症心身障害児者）に対して、専門的な知識と経験を活かした高度な医療と福祉サービスを提供していく。また増加する在宅支援ニーズへの対応の充実を図るため、短期入所室の増床を計画している。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	7 科 (内科、精神科、神経科、神経内科、小児科、リハビリテーション科、歯科)
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○ 精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション			



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○ 精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬県立小児医療センター		
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	真木病院	

5. 当院の特徴について

特徴的な 障害者医療	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児者を対象に、「医療」「看護」「支援」「リハビリテーション」など、「個別援助」をキーワードに総合的に援助している。 ・「学校教育」を必要とされる学齢児には、地域の特別支援学校や高等特別支援学校の訪問学級を設置し、個別の教育体制も整備している。
特徴的な 各種委員会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全や感染対策をはじめ、とくに褥瘡対策には力を入れており、年間を通しての褥瘡発生率は1%以下となっている。また虐待防止にも取り組んでおり、職員の意識を高めるとともに、利用者様へのサービスの充実を図っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児者に対して、日常生活の支援、療育及び医療的ケアを提供している。 ・在宅の重症心身障害児者の方に対して短期入所サービスを提供している。 ・入所者様及び在宅の障害児者の方に対して専門性の高いリハビリテーションを提供している。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・外来機能を拡張し、発達障害のある患者様への診療、リハビリテーションの提供を充実させる。 ・短期入所室を増床し、在宅で重症心身障害児者を介護されているご家族の負担の軽減を図る。 ・地域の病院、福祉施設及び各行政機関との連携を深め、利用者様にとって利便性の高い施設を目指す。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・創立50周年を迎え、これまでに蓄積されたノウハウを活かし、入所者様及び在宅の利用者様、そのご家族が健やかに生活できるよう必要とされる医療と福祉を提供いたします。